

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 105-7123
住 所 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
氏 名 富士通株式会社
代表取締役社長 田中 達也 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	富士通株式会社			
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市中原区上小田中4-1-1			
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第 4 条第 1 号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 規則第 4 条第 2 号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 規則第 4 条第 3 号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 規則第 4 条第 4 号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）			
主たる事業 の種類	大分類	E	製造業	
	中分類	30	情報通信機械器具製造業	
主たる事業 の内容	通信システム、情報処理システムおよび電子デバイスの製造・販売ならびにこれらに関するサービスの提供			
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		23,188 k l	
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台	
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名	川崎工場環境管理部	
		所在地	川崎市中原区上小田中4-1-1	
	電話番号		044-754-8976	
	F A X 番号		044-754-2524	
	メールアドレス		fj-kawasaki-envlaw@dl.jp.fujitsu.com	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式2号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取組については、ホームページにて公表しています。 http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 43,575 (調) 43,490 t-CO ₂	(実) 43,995 (調) 43,909 t-CO ₂	(実) 43,427 (調) 43,342 t-CO ₂	(実) 43,439 (調) 43,357 t-CO ₂	(実) 43,524 t-CO ₂
削減率		(実) -1.0 (調) -1.0 %	(実) 0.3 (調) 0.3 %	(実) 0.3 (調) 0.3 %	(実) 0.1 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量		単位			
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	富士通グループ第7期環境行動計画に沿って省エネ施策を実施いたしましたが、基準年度に対して、稼働を抑制していたインフラ設備（空調設備等）の稼働増加により1%の排出量増加となりました。
第2年度	富士通グループ第7期環境行動計画に沿って、高効率冷凍機への更新などの省エネ施策を実施したことにより、基準年度に対して0.3%の排出量を削減することが出来ました。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・富士通グループ第7期環境行動計画に沿って、高効率冷凍機への更新などの省エネ施策を実施したことにより、基準年度に対して0.3%の排出量を削減することが出来ました。 ・新たにH27年10月より高津事業所及びH27年4月よりソリッドスクエアが追加され、499 t-CO₂が加算されました。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

自らの環境負荷低減の強化 【温室効果ガス（GHG）排出量の削減】 ・2015年度目標「事業所における温室効果ガス排出量を1990年度比20%以上削減する。」 ・2015年度実績「1990年度比34.8%削減」 【物流・輸送時のCO2排出量の削減】 ・2015年度目標「輸送における売上高あたりのCO2排出量（エネルギー使用量をCO2排出量に換算）を2014年度比1%以上削減する。」 ・2015年度実績「2014年度比15%削減」 【再生可能エネルギーの利用量の拡大】 ・2015年度目標「再生可能エネルギーの発電容量および外部からの購入を拡大する。」 ・2015年度実績「太陽光発電設備新規導入なし、グリーン電力購入量約28,000MWh」
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等（第1号、第2号、第4号該当者等）	計 画	【設備投資による排出量の削減】 <ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯を高周波点灯型省エネ器具に更新 ・冷凍機を高効率化に更新 ・変電所の変圧器を省エネ型トップランナー変圧器に更新 ・変電所統合による省エネ 【事業所としての主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ/スーパークールビズの実施 【オフィス及び個人の主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ unnecessary 執務エリアの消灯/ unnecessary 個別空調の使用を禁止 【個別施策の主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外空調の事前申請 ・ 冷房効果を上げるため、ブラインドの閉鎖 【資源の節約に貢献する主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水（上下水道処理・供給エネルギーの抑制） ・ 廃棄物発生抑制（運搬燃料の抑制）
	第1年度	【設備投資による排出量の削減】 <ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯を高周波点灯型省エネ器具に随時更新 ・冷凍機1台を高効率ターボ冷凍機に更新 ・変電所の変圧器1台を省エネ型トップランナー変圧器に更新 ・変電所統合を見送り 【事業所としての主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズを実施 ・スーパークールビズを実施 【オフィス及び個人の主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ unnecessary 執務エリアの消灯を実施 ・ unnecessary 個別空調の抑制を実施 【個別施策の主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外空調の事前申請を実施 ・ 冷房効果を上げるため、ブラインドの閉鎖を実施 【資源の節約に貢献する主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水（上下水道処理・供給エネルギーの抑制）を実施 ・ 廃棄物発生抑制（運搬燃料の抑制）を実施
	第2年度	【設備投資による排出量の削減】 <ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯を高周波点灯型省エネ器具に随時更新 ・冷凍機1台を高効率ターボ冷凍機に更新 ・変圧器の更新なし 【事業所としての主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズを実施 ・スーパークールビズを実施 【オフィス及び個人の主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ unnecessary 執務エリアの消灯を実施 ・ unnecessary 個別空調の抑制を実施 【個別施策の主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外空調の事前申請を実施 ・ 冷房効果を上げるため、ブラインドの閉鎖を実施 【資源の節約に貢献する主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水（上下水道処理・供給エネルギーの抑制）を実施 ・ 廃棄物発生抑制（運搬燃料の抑制）を実施
	第3年度	【設備投資による排出量の削減】 <ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯を高周波点灯型省エネ器具に随時更新 ・冷凍機1台を高効率ターボ冷凍機に更新 ・変圧器の更新なし 【事業所としての主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズを実施 ・スーパークールビズを実施 【オフィス及び個人の主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ unnecessary 執務エリアの消灯を実施 ・ unnecessary 個別空調の抑制を実施 【個別施策の主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外空調の事前申請を実施 ・ 冷房効果を上げるため、ブラインドの閉鎖を実施 【資源の節約に貢献する主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水（上下水道処理・供給エネルギーの抑制）を実施 ・ 廃棄物発生抑制（運搬燃料の抑制）を実施

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

- ・川崎工場の再開発事業に沿って、再生可能エネルギーの事業所への導入を推進する。
- ・春祭り、クリスマスイベントなどにおいて使用する電力のすべてに風力発電によるグリーン電力を使用し、グリーン電力証書の購入によるカーボンオフセットを行うことで、再生可能エネルギーを使用したこととみなす。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
太陽光発電	規模：50kw 導入場所：川崎工場 発電量：30,000kwh	平成22年度	

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考
風力発電	グリーン電力証書の購入 規模：3,000kwh 場所：川崎工場	平成25年度	購入済み
風力発電	グリーン電力証書の購入 規模：2,000kwh 場所：川崎工場	平成26年度	購入済み
風力発電	グリーン電力証書の購入 規模：3,000kwh 場所：川崎工場	平成27年度	購入済み

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	低CO ₂ 川崎パイロットブランド12認定製品である【製品名】エントリーディスクアレイ ETERNUS DX60S2、DX80S2、DX90S2の生産・販売によりライフサイクル全体での温室効果ガス排出量の削減を目指します。
第1年度	エントリーディスクアレイ ETERNUS DX60S2、DX80S2、DX90S2の生産・販売によりライフサイクル全体での温室効果ガス排出量の削減を図りました。 記憶容量1GBあたりで同社旧製品と比較して46%のCO ₂ 排出量を削減
第2年度	低CO ₂ 川崎ブランド認定製品なし
第3年度	低CO ₂ 川崎ブランド認定製品なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. グリーン購入の推進を行う。 2. 廃棄物の減量化、分別化の推進を図る。 3. 川崎温暖化対策推進会議（CCエコ会議）への参加を行う。 4. 川崎工場の建屋に屋上緑化・壁面緑化を行う。 ・ 建屋屋上にサツマイモ、建屋壁面にゴーヤやアサガオなどを植栽して、緑のカーテンを設置することで直射日光をさえぎり、空調負荷を低減する。
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境に配慮した部品、材料、製品を優先して購入するグリーン調達を行った。 2. 廃棄物運搬・処理委託先の見直しを行い近隣への変更を行った。 3. 川崎温暖化対策推進会議（CCエコ会議）への参加を行った。 4. 川崎工場内の数箇所において、ゴーヤなどを植栽し壁面緑化を行った。
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境に配慮した部品、材料、製品を優先して購入するグリーン調達を行った。 2. 廃棄物運搬・処理委託先の見直しを行い近隣への変更を行った。 3. 川崎温暖化対策推進会議（CCエコ会議）への参加を行った。 4. 川崎工場内の数箇所において、ゴーヤなどを植栽し壁面緑化を行った。
第3年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境に配慮した部品、材料、製品を優先して購入するグリーン調達を行った。 2. 廃棄物運搬・処理委託先の見直しを行い近隣への変更を行った。 3. 川崎温暖化対策推進会議（CCエコ会議）理事会への参加を行った。 4. 川崎工場内において、ゴーヤなどを植栽し壁面緑化を行った。

様式第 2 号

(第6面)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	46,184	t-CO ₂
(調)	45,428	

イ 第 3 号該当者等

(実)	t-CO ₂
(調)	

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場	川崎市中原区上小田中4-1-1	3000	主として管理事務を行う本社等	36,115 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
中原ビル	川崎市中原区上小田中2-12-5	3000	主として管理事務を行う本社等	2,568 t-CO ₂
かながわサイエンスパーク	川崎市高津区坂戸3-2-1	3000	主として管理事務を行う本社等	2,595 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	1
300～400kl 未満	2
200～300kl 未満	3
100～200kl 未満	4
100kl 未満	5

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--